

# 会 議 録

会議の名称		令和7年度第1回守谷市上下水道事業審議会		
開催日時		令和7年7月25日（金） 開会：14時00分      閉会：15時25分		
開催場所		上下水道事務所 2階 大会議室		
事務局（担当課）		上下水道課		
出席者	委員	渡邊委員、佐々木委員、須賀委員、野場委員、馬原委員、 小山委員、川崎委員、森 委員 (出席8名/10名)		
	事務局	北澤所長、枝川課長、鈴木課長補佐、幸田係長、新井係長、 西 係長、南崎係長、椎貝主任、松岡主事 (計9名)		
公開・非公開の状況		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1 人
公開不可の場合はその理由				
会議次第		1 開会 2 所長挨拶 3 報告事項 (1) 上下水道事業の事業実績及び計画について (2) その他 1. 下水道管路の点検について 2. PFOS及びPFOAの水質基準について 3. 茨城県の水道事業広域連携について 4. 内水ハザードマップの作成について  4 閉会		
確定年月日		会議録署名		
令和7年8月15日		会 長 渡 邊 達 夫		

## 審議経過

- 1 開会
- 2 所長挨拶
- 3 報告事項

### (1) 上下水道事業の事業実績及び計画について

#### 【事務局（南崎）より説明】

#### ○委員からの質疑等

小山委員：久保ヶ丘地区で多くの工事が実施されておりますが、北守谷地区で第一次に入居したのが、御所ヶ丘と久保ヶ丘地区が同時期ですが、どうして御所ヶ丘は工事範囲になっていないのでしょうか。

事務局（西）：委員のおっしゃるとおり、北守谷公団は同時期に布設しておりますが、管延長や居住人数等の関係で、久保ヶ丘を優先的に更新しております。しかし、今後、御所ヶ丘や松前台も順次更新対象となってまいります。ただし、本管の緊急漏水修繕等も発生していることから、更新のペースが遅れる可能性もございます。

渡邊会長：御所ヶ丘がいつ頃の更新になるかお話いただけるとわかりやすいかと思いますが。

事務局（西）：5年から10年の間には更新対象になる見込みです。しかし、お伝えしたように、来年度から重要管路の本管の修繕工事も予定されるため更新のペースを見直しているところであり、明確に年度まではお伝えが難しいです。

事務局（枝川）：計画上は、更新年度も見積もっておりますが、漏水修繕等によって優先順位が変更となることもあります。また、今後はAIによる管路老朽化診断も実施しますので、これらの結果により更新計画は随時見直しとなりますので、ご理解いただけますと幸いです。

小山委員：更新対象となる基準を考えたときに、布設年数により更新対象となっているのではないかと考えておりましたが、今のご説明によると、現場では単純に布設年数、経過年数によって更新しているわけではないということですね。

事務局（枝川）：おっしゃるとおりです。優先順位や重要度等により実施しています。

馬原委員：水道事業会計決算について質問いたします。資料5ページにおいて、3条予算、4条予算を足し合わせて収支の合計を表示しておりますが、その意図はございますか。一般的にこういった評価をするものなのでしょうか。あくまで事業規模を把握するといった意味合いでしょうか。

事務局（南崎）：3条予算は維持管理に、4条予算は設備投資に係る部分であり、本来別物でございます。今回は、視覚的にわかりやすいよう、2枚ではなく1枚の資料にまとめて記載したものです。委員がおっしゃるとおり、事業規模も把握しやすいかと考えます。

## 報告事項（２）その他

1. 下水道管路の点検について
2. PFOS及びPFOAの水質基準について
3. 茨城県の水道事業広域連携について
4. 内水ハザードマップの作成について

### 【事務局（枝川）より説明】

#### ○委員からの質疑等

川崎委員：茨城県水道事業の広域連携について質問します。シミュレーションした結果、広域連携による増加費用が効果額を上回ったと記載されておりますが、どの程度の差があったか教えていただけますか。

事務局(枝川)：県のシミュレーションは50年の長期で試算しております。守谷市の場合、広域連携により上下水道の組織が分断されることとなりますので、水道事業と下水道事業でそれぞれに人件費が増加します。試算したところ、概算でございますが、約2億円の費用増となりました。

川崎委員：守谷市は県内において人口密度も高く、内部留保資金も多く、起債額も極端に少ないかと思えます。そういった点は、シミュレーションには反映されていないのでしょうか。

事務局(枝川)：今回のシミュレーションでは、広域化に参加した場合とそうでない場合の費用増加分について比較しておりますので、あくまで効果額と増加費用の確認をしたものになっております。

川崎委員：私は、今後も単独経営で行くべきという考えなのですが、今後広域連携を検討する上では、人口密度、内部留保、起債額等の視点も十分考慮していただきたいです。

事務局(枝川)：今後も、県の情報収集を十分に行い、慎重に精査し検討してまいります。

川崎委員：もう一つご質問させていただきます。前回から、技術者の新規募集をかけたと理解しておりますが、1年間で技術者の採用はございましたか。

事務局(枝川)：昨年度、1名の技術職を採用しております。

川崎委員：今後、老朽化更新事業を進めるにあたり、技術者が不足してくると思われまので、技術者をさらに採用すべきかと考えます。

事務局(北澤)：技術者については通年募集を始めました。4月採用のみではなく、今回は7月募集をかけております。当課のほか建設課等、多くの部署で技術者を必要としておりますが、人材が不足している現状です。一方で、募集してもなかなか集まらない現状もあり、非常に苦慮しております。委員のおっしゃるとおり、人事の部署とも連携し、引き続き募集していきたいと考えております。

馬原委員：何年か前に、水道の漏水調査について質問した際に、漏水は0件であるとおっしゃっていたのですが、漏水はないのでしょうか。

事務局(枝川)：近年ですと、漏水はございます。本管の漏水件数が少し増えてきております。

馬原委員：下水道の漏水はありますか。

事務局(枝川)：下水管の破損の場合、逆に雨水が入ってきてしまうといった事象があります。雨天時に処理水量が増える傾向がありますので、一定の破損等は生じていると考えられます。

佐々木委員：危機管理の観点でお尋ねします。守谷市は利根川浄水場から県水を受水しておりますが、県の企業局は400mmの緊急連絡管の布設工事を行っておりますが、緊急時にはそちらから受水できるのでしょうか。

事務局(枝川)：みずき野方面で企業局が布設工事を行っていることは認識しておりますが、具体的な開通年度までは把握しておりません。

森委員：暑い日が連日続いておりますが、渇水の問題はありますか。

事務局(枝川)：現在のところ、節水制限や渇水の段階にはございません。この状態がどこまで続くかはわかりませんが、台風等により水量が回復する可能性もございます。

#### 4. 閉会

以上